第３学年　国語科学習指導案

日　時　　平成３０年１１月２１日（水）　第５校時　１３時０５分～１３時５０分

単元名　　読書ゆうびんで感想を伝え合おう「サーカスのライオン」

学習者　　第３学年　１１名

指導者　　湊　純美

育成を目指す資質・能力

【知識・技能】**【課題発見解決力】【思考力・判断力・表現力】**【協働的な態度評価力】

１　単元について

○　本単元は，国語科学習指導要領の指導事項「C 読むこと」の

> C　読むこと
>
> （１）　読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
>
> イ　登場人物の行動や気持ちなどについて，叙述を基に捉えること。
>
> エ　登場人物の気持ちの変化や性格，情景について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。

を受けて設定されたものである。

本単元の教材文は，単調な生活の繰り返しにやる気を失っていたサーカスの年老いたライオン「じんざ」が，ある男の子との出会いを通してやる気と前向きな心を取り戻していく，温かい心の交流を描いた作品である。

本単元で育成を目指す資質・能力に関しては，「読書ゆうびん」で感想を伝え合おうというゴールに向けて，課題を解決する意欲を持たせ，物語を読んで，感じたことや心に残ったことを目的に応じて工夫してまとめさせる。また，叙述をもとに，情景や登場人物の心情を読み取ったり，想像させたり，豊かに表現させたりすることを通して，課題発見・解決力と思考力・判断力・表現力をつけていこうと考える。

○　本学級の児童は，６月に「ゆうすげ村の小さな旅館」の学習で，時・場所・人物で場面分け，叙述の中にある物語のしかけに着目し，物語を読み進める学習をした。物語を大まかに捉えることはできているが，叙述に基づいた細かな気持ちの難しい児童が見られた。友だちと考えを交流することで，それまで気付かなかった考えに触れ，物語をいろいろな視点から読む経験をした。しかし，自分の考えたことを発表することはできるが，考えを比較しているとは言えない。また，９月に行った国語に関するアンケート調査では，「物語の勉強は好きですか」の項目では，肯定的な回答をしていた。また，「読書は好きですか」の項目では，９５％の児童が肯定的な回答をしていた。この結果から，児童は，読み物に親しんでいると言える。「友だちの意見を聞いて考えが深まったと思いますか」の項目では，肯定的な回答をした児童は，９３％でほとんどの児童が，友だちとの学習のよさを感じているということが分かった。しかし，発表の様子を見ると，話す声が小さかったり，発表を聞いて反応がなかったり，話すこと→聞くことが苦手な児童も数名おり，自分の考えを自分の言葉で伝え合ったり，友だちの考えを聞いて自分の考えを広げたり，深めたりすることは十分ではない。

○　指導にあたっては，単元の核となる活動として読書はがきを書き，相手に本の感想を伝える「読書ゆうびん」という活動を設定する。単元の導入では，教師が児童一人一人に宛てて読書はがきともに紹介する本を手渡し，児童に読書はがきを受け取る嬉しさを感じさせ，自分たちも友だちに宛てて読書ゆうびんで本を紹介してみたいという意欲をもたせる。【課題設定】では，読書はがきに書く項目（叙述・解釈・感想）を確認し，文章に沿った読み取りの必要性を感じさせる。【情報の収集】【整理・分析】では，叙述をもとに人物の気持ちと変化，その理由を想像して読ませ，読書ゆうびんを書かせる【まとめ・創造・表現】【実行】では，これまで書いた読書はがきを読んで感想をまとめさせ，【振り返り】では，読書はがきを書き，交流させる。

2　単元の目標

○　物語を読むことに興味をもち，中心人物の気持ちの変化を考え，感想を伝えることができる。
（関心・意欲・態度）

○　中心人物の性格や気持ちの変化などを，叙述を基に想像して読むことができる。

○　物語を読んで感じたことや思ったことを発表し合い，一人一人の感じ方に違いがあることについて気付くことができる。（C読むこと イ（エ））

○　表現したり理解したりするために，必要な語句を増やすことができる。
（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（１）オ）

3　単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
・物語を読むことに興味をもち，中心人物の気持ちの変化を考え，感想を伝えている。 （課題発見解決力）	・中心人物の性格や気持ちの変化などを，叙述を基に想像して読み，読書はがきを書いている。 ・物語を読んで感じたことや思ったことを発表し合い，一人一人の感じ方に違いがあることについて気付いている。	・表現したり理解したりするために，必要な語句を増やしている。

○　育成する資質・能力に関する視点

この単元では，「読書ゆうびん」で感想を伝え合おうというゴールに向けて，課題を解決する意欲を持たせ，物語を読んで，感じたことや心に残ったことを目的に応じて工夫してまとめたり，伝え合ったりすることを通して，課題発見・解決力と思考力・判断力・表現力をつけていきたい。

4　指導計画（全１２時間）

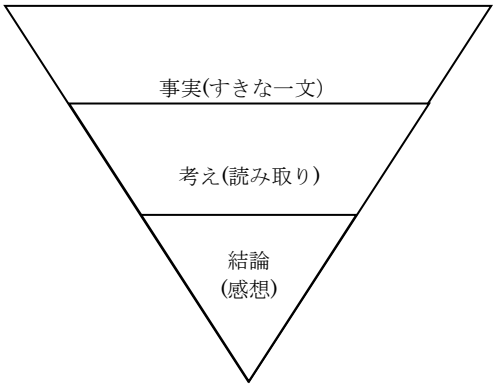
次	時	主な学習内容	関	読	伝国	評価規準	評価方法
一	1	【課題設定】 ・読書はがきを受け取り，自分たちも友だちに読書はがきを書き，本を紹介したいという学習課題をもつ。	○			・読書はがきを書くために，物語を読んでいきたいという意欲をもっている。	発言 読書はがき 観察
	2	・教材文を読んで物語の大体をとらえ，初発の感想を書く。		○		・教材文を読んで読み，感想にまとめている。	ノート 観察
	3	・中心人物の気持ちの変化を読み取るというねらいを確認し，学習計画を立てる。「読書ゆうびん」に向けた見通しをもつ。 ・場面分けを確認する。 ・あらすじをまとめ教材文をとらえる。		○		・物語の大体をとらえ，初発の感想を発表して学習計画を立てる。 ・物語の設定を理解し，あらすじをまとめている。	発表 ノート ワークシート 観察

二	4	【情報の収集】【整理・分析】 ・好きな叙述で，論述ツールをもとに，読書はがきを書く。		○		・叙述をもとに，人物の気持ちと変化，その理由を想像して読んでいる。	ワークシート（読書はがき） 観察
	5	・好きな叙述で，論述ツールをもとに，読書はがきを書く。		○		・叙述をもとに，人物の気持ちと変化，その理由を想像して読んでいる。	ワークシート （読書はがき） 観察
	6	・好きな叙述で，論述ツールをもとに，読書はがきを書く。		○		・叙述をもとに，人物の気持ちと変化，その理由を想像して読んでいる。。	ワークシート （読書はがき） 観察
	7（本時）	・好きな叙述で，論述ツールをもとに，読書はがきを書く。		○		・叙述をもとに，人物の気持ちと変化，その理由を想像して読んでいる。	ワークシート （読書はがき） 観察
	8	・好きな叙述で，論述ツールをもとに，読書はがきを書く。		○		・叙述をもとに，人物の気持ちと変化，その理由を想像して読んでいる。	ワークシート （読書はがき） 観察
三	9	【まとめ・創造・表現】，【実行】 ・これまで書いた読書はがきを読んで，感想をまとめる。			○	・叙述をもとに，人物の気持ちと変化，その理由を想像して，感想をまとめている。	作文 観察
	10	・読書はがきを書き，交流する。			○	・感想を交流し合い，一人一人の感じ方に違いがあることに気付いている。	発言 観察
四	11	・読書はがきに書きたい本を選び，物語の大体を読み，メモにまとめる。		○		・物語の大体を読み，書きたいことについてまとめている。	発言 ノート 観察
	12	【振り返り】 ・読書はがきを書き，お互いに交流したあと，読書はがきに書いている本を読んで読書はがきを書いてポストに入れる。	○			・読書はがきに書いている絵本を探し読んで，読書はがきを書いている。	発言 ノート （読書はがき） 観察

5　学習活動

（1）　本時の目標

叙述をもとに，人物の気持ちや変化，その理由を想像して読むことができる。

学習活動	指導上の留意点と☆評価規準
1　前時の学習を想起する。 2　本時の課題をつかむ。 め　すきな文しょうをえらび，読書はがきを書こう。	・前時の読書はがきを読ませる。
3　音読をする。（p.17~p.21） 4　火事の大きさを表す言葉を見つける。 〇火事の大きさを表す言葉を見つけましょう。 ・ごうごうとふき上げるほのお ・けむりはどの部屋からもうずまいてふき出ていた ・ほのうがぬうっと立ちふさがってしまった ・けむりのために，もう何にも見えない ・風にのったほのおは真っ赤にアパートをつつみこんで，火の粉をふき上げていた 5　論述ツール（ワークシート）に読み取ったことを整理し，発表する。 〇一番好きな一文を書いて発表しましょう。 〇叙述から，解釈，感想を書いて発表しましょう。  6　読書はがきを書き，ポストに投函する。 7　次時の予告を聞く。	・リレー読みをさせる。 ・誰も助けにいけないほどの大火事であり，じんざが男の子を助けに火の中に入って行く場面であることを確認する。 ・一番好きな文章を書き，読み取ったこと，感想を発表する。 ・叙述（一文）を書かせたり発表させたりして，出た意見をまとめる。 ・児童から出た叙述をもとに解釈させ，感想を書かせ，発表させる。 めざす児童の発言 わたしが一番すきな一文は，「ライオンのすがたはどこにもなかった。」というところです。じんざは，気をうしなってたおれていた男の子をだきかかえて，命がけでほのおの中から助けました。じんざは，自分の命が危ないのに男の子を助けたので，じんざはとても優しいライオンなんだなと思いました。 ☆叙述をもとに，人物の気持ちと変化，その理由を想像して考えや感想を書いている。 （発言　ワークシート） ・何人かの児童の読書はがきを読んで聞かせる。

（２）　板書計画

サーカスのライオン

めあて
すきな文しょうをえらび、読書はがきを書こう。

〈火事大きさを表す言葉〉
・男の子のアパートがぼうっと赤い
・ごうごうとふき上げるほのお

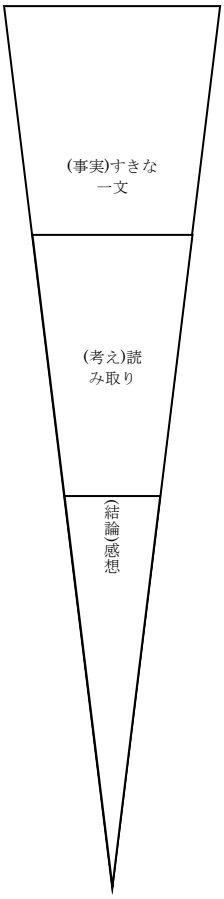
じんざの挿絵

○すきな一文
①ライオン体がぐうんと大きくなった。
②足のいたいのもわすれて、むかし、アフリカの草原を走ったときのように、じんざはひとかたまりの風になってすっとんでいく。
③じんざは力のかぎりほえた。ウォーッ
④金色に光るライオンは、空を走り、たちまちくらやみの中に消え去った。

○読み取り
じんざは気をうしなっていて倒れてだきかかえて命がけで炎の中から助けました。

○感想
じんざは自分の命がなくなるかもしれないのに、男の子を助けたので助けたので、じんざは心のやさしいライオンだと思いました。

論述ツール



（３）座席表

教　卓

好川	古本	石根
石垣	加藤	松井
竹田	森原	森本
沖田	大形	

※単元で育成を目指す資質・能力に係る児童生徒の変容

〇資質・能力に係る単元前の児童の実態

本学級の児童は，今まで，なぜなにチャートやステップチャートを使って，発表することができていた。また，「理由は３つあります」を発言するが，理由が，似たようなものになっていた。

〇単元での具体的な手立て

導入では，火事を表す言葉を見つけだし，そのあと，逆ピラミッドを使って，本文から自分のすきな一文を見つけ出させ，読み取り，感想を書かせることができた。最後に，ワークシートに書いたことを友だち宛にはがきを書いて，ポストに投函させることで，主体的に学習に取り組ませることができた。

〇児童の変容

・一人一人が教科書〇ページの前から〇行目，後ろから〇行目の～と言って発表することができるようになった。

・逆ピラミッドの意味をよく考えてワークシートに積極的に書くことができるようになった。

・友だちへのはがきをとても意欲的に書くことができるようになった。